



祈願！コロナ早期退散

■ 今月のコロナは・・・

今月は「神様、仏様、アマビエ様」に続き、とある土手に佇むお地蔵様への祈願です。

ワクチン接種が各地で進み、国の目標としては今月中にも希望する高齢者全員の接種が完了することになっています。都市における大規模接種会場での接種のほかに職域接種の受付も始まり、若い人たちへの接種も進むことでしょう。

「ワクチンは充分にある。しかし打ち手の確保が困難・・・」と言われていたと思っただが、今度は「職域接種の申し込みが殺到してワクチン供給が要望に応えられない」と、ちぐはぐな感じも否めませんが、それだけ接種のスピードが上がったということになるのでしょうか。

オリンピックは今年23日に開会式を迎えます。すでに来日した選手団の中にコロナ陽性判定を受けた人が存在し、今後も同様のケースが現れることが懸念されます。

コロナもどんどん変異して人類に立ち向かっているようです。すでに2回のワクチン接種が終わった人も増えているようですが、まだまだ気を許すことができないでしょうね。

■ zoom 会合報告 [JVC Snior net \(jvc-senior.com\)](http://jvc-senior.net) 参照

先月に続き「故郷と鉄道」で開催されました。

故郷の思い出を語りだすと時間がいくらあっても足りないようです。またこの会合を通してお互いの故郷の近さを認識したりもしています。

これからもテーマを決めて開催していきますので多くの皆様のご参加を期待しています。



■ 国民の祝日「海の日」と明治丸

昨年10月に買った手帳では7月第3週の月曜日19日が「海の日(祝日)」となっています。しかし今年にはオリンピック開催に合わせて22日(木)に移動されているので、カレンダーに基づいて仕事をしている人は気をつけなければなりませんね。

「海の日」が7月20日(祝日)となったのは1996年(平成8年)で比較的新しい祝日ですが、その後、2003年(平成15年)からのハッピーマンデー制度導入により7月の第3月曜日となっています。

そもそも7月20日は1941年(昭和16年)から「海の記念日」と定められていましたが祝日ではありませんでした。この日は、1876年(明治9年)に明治天皇が東北地方を巡幸した際、その帰途に青森から灯台視察船「明治丸」に乗船し、7月20日に横浜港に戻ってきた史実に由来しています。したがって、「海の日」はこの記念の日をもとに定められた祝日でしたが、ハッピーマンデー制度の導入とともに「海の記念日」とは違うものになってしまったようです。

明治丸は英国で造船されて1875年(明治8年)2月に横浜に回航されました。

同年、小笠原の領有権問題が発生しました。17世紀に江戸幕府は小笠原諸島の領有を主張しながらも、鎖国体制のもとでそこへの移住を積極的に行わない中、捕鯨などで来島した欧米人が住むようになっていました。

この小笠原の領有権に英国が名乗りを上げようとした際、時の政府はこの明治丸を直ちに小笠原に派遣しました。横浜にいた英国軍艦もほぼ同時に小笠原に向かって出航するも、明治丸が2日早く現地に到着し、島民との交渉で日本への帰属が確認されたという話があります。その時の明治丸は英国人が操船したとのことで、この英国人には大感謝ものですね。

明治丸は本来の目的である灯台視察で全国を巡り、時には高官を乗せるロイヤルシップとしても活用されました。明治29年、東京商船学校に譲渡され係留練習船として若者の育成に利用され、現在は東京海洋大学越中島キャンパスに国の重要文化財として保存されています。現在コロナ禍のため中断していますが、一般見学も可能です。

事務局長 田代 周



近くで見るとその大きさに圧倒されるようです。2017年(平成29年)6月撮影